

公益社団法人松阪青年会議所
2017年度 基本運動方針

まつり委員会

委員長 水谷 健太郎

《委員会スローガン》

おもいから郷土愛へ

《基本運動方針》

輝かしい松阪の創造を誓った39名の先輩諸兄によって設立された松阪青年会議所は「明るい豊かな社会の創造」のおもいを胸に「まちのため」、そしてまちの人財を育成する「ひとのため」に活動してまいりました。

阪神淡路大震災や東日本大震災の際に海外の方から賞賛された日本人の「助け合いのこころ」は、昔から困っているひとをおもい行動し助け合いながら、まちをつくり守っていく中で育まれてきました。「助け合いのこころ」を再認識していただくことが相手をおもい行動することとなり未来につながる情熱ある「まちづくり」になると考えます。

4月公開例会では相手をおもい行動することの大切さを見つめ直してしていただき、その行動が周りとの絆を深め地域の郷土愛を高めることになり、自分のまちに誇りを持ち主体的にまちの未来を考え行動して頂くきっかけとなります。

7月公開例会では松阪祇園まつり三社みこしを通し地域の伝統や文化、歴史に触れて頂き松阪への郷土愛を育むことで情熱を持って未来へと繋げて頂きたいと思えます。

そして松阪祇園まつり三社みこし世話人会事務局の運営を委託される中で松阪青年会議所として気づきや学びを得ながら相手をおもい行動し責任感を持って事務局を運営してまいります。

また会員拡大に対しても松阪青年会議所の同志を一人でも多く拡大し、本年度松阪青年会議所として主管させて頂く三重ブロック協議会事務局運営の支援にも積極的に取り組ませて頂きます。

最後になりますが、委員会メンバー一丸となって「まちのため」に歩んでまいりますので、皆様のご協力のほどよろしくお願い致します。